



ホームページ

展示や催しものの情報などをインターネットのホームページでお伝えしています。ぜひご覧ください。
<http://www.katch.ne.jp/~anjomuse/>
 Eメールはこちらへどうぞ。
anjomuse@katch.ne.jp



文化財の調査・保護

あまり皆さんの目にはふれませんが、市内の文化財について調査や保護、保存することも博物館活動の重要項目です。
 この10年間に数多くの文化財が新たに指定を受け、また、必要なものは修理が行われてきました。とくに埋蔵文化財関係では恒常的に調査が実施されており、新たな発見に期待がかかります。



コンサート・映画会



より多くの人が博物館に親しんでいただけるよう実施している催しものに、コンサートと映画会があります。博物館のエントランスホールは、残響が豊かでちょうどとした生演奏には最適。歴史にこだわった珍しいプログラムが登場することもあります。
 映画会は、なつかしい名画を半年ごとにシリーズを組んで、毎月1回上映しています。テレビでは味わえない大きな画面が魅力です。



講演会・土曜講座



展示会の開催中に、そのテーマにそった内容の講演会を1～2回開催。さらに毎月第2土曜日には最新の情報などを学芸員（一部外部講師）が紹介する土曜講座を開いています。聴講者が会場からあふれることもたびたびあります。



歴史博物館は
10歳になりました

安城の歴史をものがたる安祥城址の北西に、安城歴史博物館がオープンしたのは、10年前の平成3年2月8日。以来多くの人が展示の見学に訪れ、これまでに約35万人の入館者を数えました。
 今後も歴史的な発見や感動を展示や催しを通じてお伝えしていきます。皆さんのご来館をお待ちしています。



体験講座



むかしの人々の生活とその知恵を、頭の中だけで想像するのではなく、実際に試してやってみる。そんな趣向が人気を呼び、現在は月1回実施しています。特にちまき、かしわもちやいがまんじゅうなど、食べ物系は大人気。いつも申し込みが殺到して、すぐに定員がいっぱいになります。



展覧会



様々なテーマが取り上げられる展覧会は、いわば博物館の目玉商品。この10年間にのべ67回開催してきました。年間のスケジュールはやや規模の大きい特別展が1回、通常の企画展が3回、さらに小規模なミュージアム・スポット（開館当初は小展示という名称）が数回で構成されています。
 地域の歴史を浮き彫りにした内外の評価の高い展覧会です。

※「M・S」はミュージアム・スポット	※数字は開催年度	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8
		特別展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展
		弥生の絵画倭人の顔	新世紀開運招福三河万歳	江戸時代の測量術	文苑写真展	機械じかけのおもちやと60年代	我が家の逸品Ⅱ	安城の絵馬	親鸞聖人絵伝	写された幕末明治	農村歌舞伎の舞台を彩る	三河土人形	幽霊学入門	水野校山展	東海の木喰仏	駅弁の旅	弥生の技術革新	法隆寺金堂の壁画展	碧海の民話八景	隆昌寺の壁画展	本證寺	東海の貝塚	三河万歳	戦前広告図鑑	子どもの昭和史	ラジオとテレビジョン	隆昌寺の壁画展	隆昌寺の壁画展	隆昌寺の壁画展

8	8	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3	2
M・S	特別展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	企画展	特別展
我が家の逸品	愛知の中世陶器	野鍛冶の世界	戦後のまんが事情	西洋医学事始	平和への願い	古代集落遺跡を掘る	戦後安城の出版物	蓮如上人	徳川美術館コレクション	なつかしい正月の玩具	食の風景	弥生の華	山崎延吉の足跡	日本独創の技術	親鸞聖人絵伝	近世三河の俳諧	星まつり・日本の七夕	安城の農村歌舞伎	聖徳太子像の造形	おもちやの文化史	神道三河万歳のお札	三河と足利氏	山崎延吉	明治の三大用水	我が町の作家展	文人・石川丈山の世界	再発見・安城の文化財

これまでに開催した展覧会